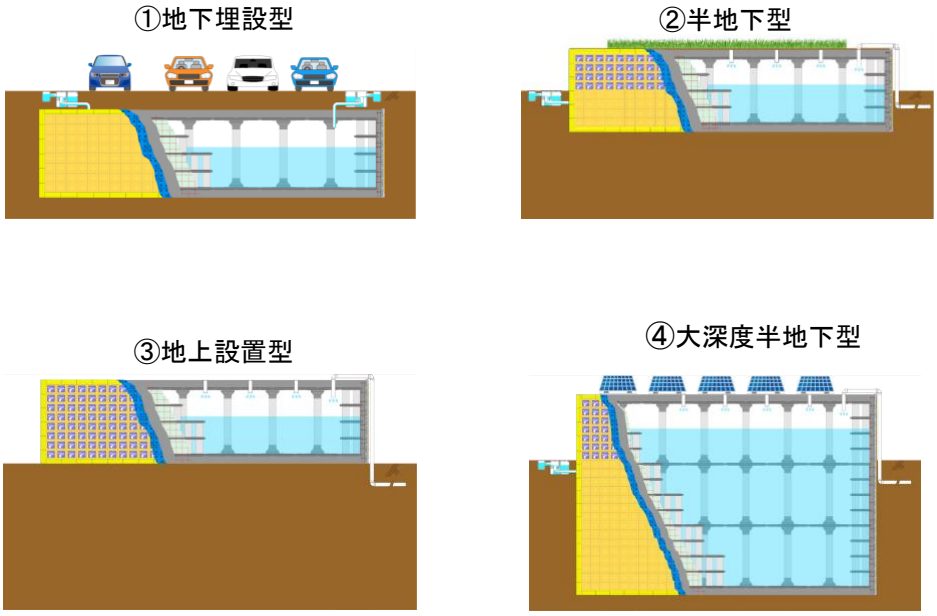
記入日　2020 年　8 月 9 日

会社・団体名	株式会社　トーテツ 英文名：TOTETSU　MFG.,CO. LTD.			
技術・設備名	ユニバーサル（UN）水貯留システム			
分類	○	（1）省エネルギー	○	（5）水処理
		（2）新エネルギー		（6）土壌汚染防止・土壌改良
		（3）大気汚染対策		（7）スマートシティ
	○	（4）循環経済		（8）その他
特徴（PRポイント）	従来の技術では十分な機能が果たせなかった新たな方式のコンクリート製貯留システム・工法であり、①施工の合理化による大幅な工期短縮と経費節減②使用目的や現場条件等に応じた構造の選択が可能③超大型槽に対応するための仕切壁を容易に形成可能④雨水中の汚染物質を除去し、きれいな水を貯留可能、などの特徴を有する。 設置場所は地下埋設・半地下・地上設置のいずれも選択が可能であり、規模も大・中・小にかかわらず建設可能である。これからの水資源確保の方式は、従来のダムや溜池によるオフサイト貯留ではなく、オンサイト貯留による方式に切り替えていくことで水問題解消の道が開かれると期待される。			
具体的な省エネ・環境効果、経済性	旧来のダムや溜池については次の問題が指摘される。 ①蒸発によって 40%を超える水が失われる。 ②飛来する汚染物質の沈積や土砂の堆積が避けられない。 ③上部の土地利用ができない。 ④河川の上流部に大規模な「水ガメ」を作ると下流部に影響が出て、「水争い」が起きる。 これに対し、大・中・小規模のユニバーサル水貯留システムを適切に配置して、雨期に降る雨を貯留することにより、こうした問題が解決され、内外の水問題の根本的解決が可能になる。			
概要・原理	アクアパレスと名付けたプラスチック製の構造材を組立て形成する、雨水等の貯留槽であって、使用目的や現場条件に応じて構築方法を 4 つのタイプから選択できる。 ①地下埋設型 ②半地下型 ③地上設置型 ④大深度半地下型 4 つのタイプを使い分けることにより、雨水貯留に関する多分野のニーズに応えることが可能になる。 この地下貯留槽の前段には雨水中の汚染物質除去のための除塵管理桝が設置され、全体のシステムが構成される。			

	ユニバーサル水貯留システムの構成   **貯留材「アクアパレス」** 使用条件に応じて構造を選択できる、プラスチック製貯留材。 内部に人が入って点検・清掃ができるのも大きな特徴。
実績	JICA（国際協力機構）の普及・実証事業で、インド　タミルナドゥ州チェンナイ市の公共事業施設の駐車場下に 600m3 の地下埋設型の貯水槽を建設し、トイレ用水・飲用水を提供した。当時の施工で課題とされた残置型枠のレンガ工法を解決するために新しい残置型枠である UN フォームを開発し完成させた。これらについて、水問題を抱える国々や地域を対象に普及を図り、技術移転を進めて行く方針である。

日本での連絡先	担当者名：髙井　征一郎 TEL：　03-3493-5911 E-mail：seiichiro.takai@totetu.com 〒141-0032　東京都品川区大崎3丁目6-11
Web　URL	http://www.totetu.com